



▼ 冷凍庫にレールレスのパートナーラック移動タイプを導入



床に断熱材が入っていたため、床工事が不要なレールレスのパートナーラック移動タイプを導入。短工期で設置できるうえ、設置後の移設や増設も容易に行うことができる。



パートナーラックの移動タイプと固定タイプを組み合わせると、柱のある庫内のスペースをムダなく利用。



「トヨタL&Fさんは、当社の立場に立ってどんな些細なことでも耳を傾けてくれるので、とても相談がしやすいです。今回も、移動ラックの保管スペースを少しでも多く確保するため、ビームを少し薄くしてほしいといった細かい要望を出しましたが、真摯に対応していただきました」と営業企画部 部長の梶原様。



▼ 冷凍冷蔵庫仕様のジェネオR



-20℃の冷凍庫での荷役作業に、-45℃まで対応可能な冷凍冷蔵庫仕様のジェネオRを使用。車両には作業環境を明るく保てる、長寿命・省電力のLEDヘッドランプをオプションで設置している。

商品の保管効率を徹底して追求。 作業性や安全性も重要視しました。

東栄興業株式会社 東扇島物流センター様

〒210-0869
神奈川県川崎市川崎区
東扇島6-10
かわさきFAZ A棟2F
TEL 044-271-5180

代表取締役
真田 政幸様

導入製品



Partner Rack
パートナーラック(移動タイプ)



GENEO-R
ジェネオR(冷凍冷蔵庫仕様)

導入効果

- パートナーラックを採用し、保管効率が向上
- レールレスの移動タイプは床工事不要
- ジェネオRとの併用で、作業効率が向上

限られたスペースを有効活用するために

神奈川県に本社を構える東栄興業様は、食品の物流事業とタクシー事業を展開しています。関東エリアをカバーする物流事業については、荷主様と密に連携を図ることにより、期待を超える満足度の高いサービスを提供できるのが強みです。2007年頃から、商品の保管から仕分け、配送までのトータル物流サービスの強化を図ってきたのに伴い、商品の取扱量が増大。対応策として、2012年11月に新たな物流拠点、東扇島物流センターを開設しました。設立する際の課題は、限られたスペースを有効に活用し、商品の保管効率を最大限に高めることでした。

理想のセンターを実現するため、パートナーに選んだのがトヨタL&Fです。その理由について、代表取締役の真田様は「数十年来のお取引があり実績は十分でしたし、何よりも当社と意思を一つにして二人三脚で最善の策を考えてくれますから任せて安心です」と語ります。今回のプロジェクトでは、設計段階からトヨタL&Fも参加。レイアウトなども含めて検討を重ねた結果、冷蔵・冷凍・常温の各保管倉庫における荷役作業用にリーチタイプのフォークリフト、ジェネオRを9台と、商品の保管機器として移動タイプのパートナーラックを冷凍庫に導入しました。

固定ラックの約 1.5 倍の保管効率を実現

東扇島物流センターは現在、東栄興業様のコアセンターとして365日24時間操業しています。導入した設備機器については満足していると、営業企画部部長の梶原様。「移動タイプのパートナーラックは保管効率が非常に高いですね。固定ラックだけにした場合と比較して約1.5倍の756パレットを収納することができます。それだけでなくジェネオRと併用することで作業効率を高められたことや、荷役の作業性や安全性にも配慮したうえで最小限の通路幅を確保できたのは、設計段階からトヨタL&Fさんにアドバイスをいただいたおかげです」と話します。

東扇島物流センターの運営は軌道に乗っていますが、山登り而言えば5合目の段階と、代表取締役の真田様。「物流は常に改善が必要です。ひと言で言えば「現場力」を高めて、保管品質や生産性などを向上させていかなければいけません。ただ、私たちだけで考えていると視野が狭くなりがちですから、物流改善のプロであるトヨタL&Fさんには今後も新しい提案をしていただきたいと思っています」。お客様により満足していただくために、何ができるか。東栄興業様はサービスのさらなる向上を追求しつづけています。